

令和5年12月21日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

総務委員長 高谷真一郎

総務委員会管外視察結果報告書

本委員会は、令和5年度管外視察を下記のとおり実施したので報告いたします。

記

1 視察期日

令和5年10月5日（木）

2 視察先

木更津市（千葉県）

3 視察項目

(1) 電子地域通貨「アクアコイン」の取組（木更津市）

本市では、ボランティア活動や地域活動などを支援するとともに、コミュニティ及び地域経済の活性化を図り、地域課題の解決や地域のにぎわいを創出することを目的として、令和4年12月1日から試行運用として「三鷹市地域ポイント事業」を開始し、令和6年度からの本格運用を目指している。

令和4年度から試行運用を開始している地域ポイントは、市が指定する活動やイベント等に参加した場合に付与されるポイントで、記念品との交換や利用者同士での交換（あげる・もらう）のほか、市が指定する場所で1ポイント＝1円としてキャッシュレス決済に利用することができるものである。

令和5年度には、地域ポイントの愛称を募集するとともに、現在、特定の部署の所管するボランティア活動や年度テーマに資するイベントへの参加に対して付与しているところだが、付与対象の拡充を行う予定である。また、市内店舗でのポイント決済を試験導入し、地域ポイントの利用や循環の仕組み等を検証する。

令和6年度の本格運用からは、利用者が現金でチャージする電子マネーである「地域マネー」の導入を予定するとともに、ポイント決済できる市内店舗の拡充も予定している。

そこで、本市議会としても、多様な事業展開を図ることで利用者の皆様に楽しみながらなれ親しんでいただける事業を目指すとともに、ユニークな活用方法を創出し地域を盛り上げる取組の参考とするため、先進事例の視察を行った。

4 出張者

(1) 総務委員

高谷真一朗、加藤こうじ、粕谷 稔、成田ちひろ、吉野けんさく、
野村 羊子、栗原けんじ

(2) 同行職員

企画部調整担当部長 伊藤 恵三

(3) 随行職員

議会事務局調査係長 小菅 稔

電子地域通貨「アクアコイン」の取組

1 導入に至った背景

木更津市においては、今後の総人口の減少やさらなる少子高齢化が見込まれるとともに、地域自治の基本である自治会の加入率が徐々に減少している。また、市内の事業所数及び事業者数については、近年、大型のショッピング施設が郊外に立地してきたことにより増加傾向にある一方、商店会の団体数及び会員総数については減少している状況にある。

そのような中、将来にわたって持続可能な地域をつくるため、平成29年10月24日に職員によるプロジェクトチーム、「14万市民がつながるきさらづデジタル2020チーム」が設置され、3つのテーマとして、(1)、電子地域通貨を活用し、市域内の経済循環を高めること、(2)、スマートフォンを活用した情報インフラを整備すること（市政情報等を集約（情報の発信と収集）する市独自のアプリの開発）、(3)、ICTを活用し、庁内事務の迅速化・効率化を推進することについて検討し、平成30年1月18日に「ICTの推進に関する報告書」を市長に提出した。それを受けて、同年3月に「地域ICT推進プラン」を策定し、電子地域通貨アクアコインを市の施策に位置づけた。

また、報告書の提出を受け、同年2月28日に君津信用組合・木更津市・木更津商工会議所の3者連携による協定を締結した。この協定において、木更津市は、市域の発展を本旨とし、市民等に対する情報発信、参加利用促進、行政ポイントの付与、行政分野での利用拡大等を役割としている。君津信用組合は、地域貢献を本旨とし、システム整備、コインの発行、送金、換金、参加利用促進を役割としている。木更津商工会議所は、商工業の振興を本旨とし、事業者等に対する情報発信、参加利用促進、事業者間取引の普及を役割としている。

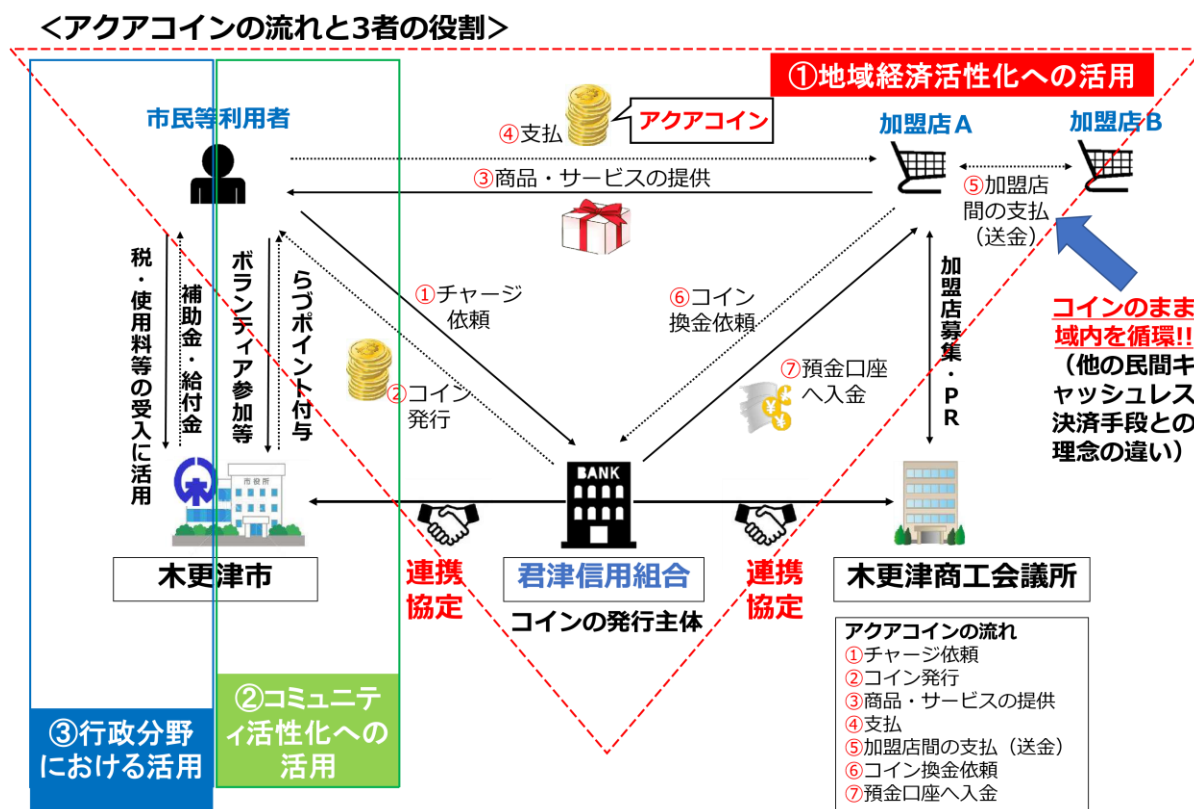
2 アクアコインの概要

アクアコインは、君津信用組合・木更津市・木更津商工会議所の3者が協力して運営する電子地域通貨である。

この取組は、電子地域通貨を活用し、商店街など地域の中での消費活動を高め、資金の地域内における循環を促進するとともに、観光客等に電子地域通貨を使用してもらうなど地域外からの消費を呼び込むことにより、市域の経済の活性化を目指すものである。

また、ボランティア活動等に対し、市からアクアコインを通じてポイントを提供し、地域における支え合い等を促進することにより、地域コミュニティの活性化も併せて目指すものである。

アクアコインは暗号資産とは異なり価値は変動せず、木更津市内限定で1コイン=1円として利用することができ、利用者がスマートフォンの専用アプリを使用して、参加店に設置してある二次元コードを読み取り、利用代金の決済をキャッシュレスで電子的に行うものである。



木更津市提供資料より

使用方法としては、まず、アクアコインのアプリをダウンロードし、コインをチャージする。決済するときは、お店のQRコードをスマートフォンで読み取り、支払う金額(コイン数)を入力して支払うものである。

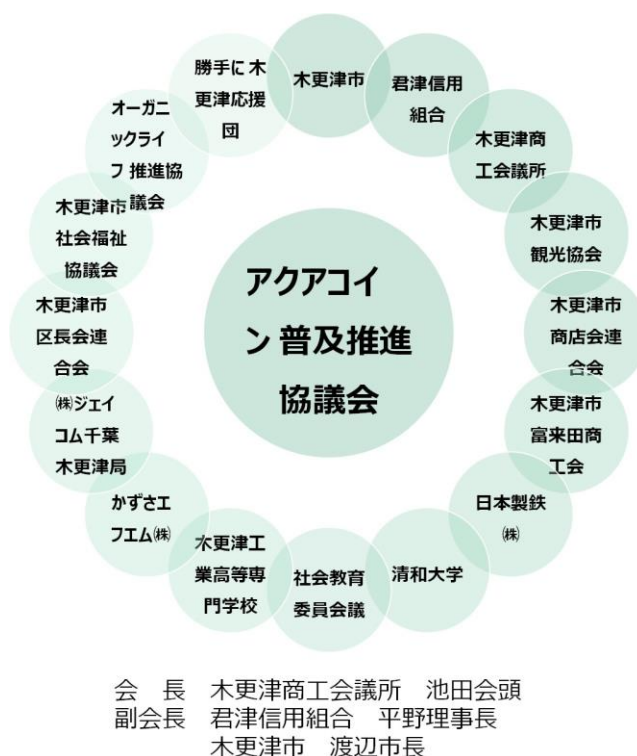
チャージ方法としては、全国にあるセブン銀行ATM、木更津市内に9台設置されている自動チャージ機及び協力店舗で購入可能なプリペイドカードのほか、令和5年10月2日からは銀行口座からの即時チャージも開始したところである。

アクアコインの特徴の1つに、利用者のメリットとして、お財布要らずのスマート決済、現金・小銭不要、感染リスクの軽減、「いつ」「どこに」「いくら」使ったか履歴が分かる、行政ポイントをはじめ各種ポイントの付与などが挙げられ、また加盟店のメリットとして、必要なのはスマートフォンとQRコードのみで専用端末は不要、現金授受や釣銭を渡す手間が不要、クレジットカード決済のような手続が不要、盗難リスクなし、売上金の集計不要、決済手数料ゼロ、換金

手数料1.8%（商工会議所会員等の加盟店は1.5%）、加盟店間の送金手数料0.5%（令和6年度末までゼロ%）、換金申請の翌営業日に口座へ入金、加盟店間の送金は24時間いつでも・どこでも可能などが挙げられる。なお、換金手数料が本システムの運用経費となっている。

また、アクアコイン・ポイントの有効期限を設けているといった特徴もある。アクアコインの有効期限は、最後に利用した日から1年後の当月末日まで、アクアポイントの有効期限は、付与された日から1年後の当月末日までとなっており、貯蓄するのではなく、市内での消費の活発化を狙いとしている。

アクアコインは、基本的には君津信用組合・木更津市・木更津商工会議所の3者で運営しているが、さらなる官民連携により普及体制を強化し推進していくため、アクアコイン普及推進協議会を設置している。当該協議会は、市内の商業団体、大企業、教育機関、メディア、市民団体等で構成されており、主にアクアコインの普及啓発に努めている。



- ＜実施事業＞
- 1. 利用促進事業**
普及方策の検討、イベント等の開催、情報発信、セブン銀行ATM、プリペイドカード 実施
 - 2. 加盟促進事業**
新規加盟促進、加盟店同士の交流促進、BtoB取引の推進
 - 3. 自立化推進事業**
新たな運営財源の確保に向けた検討

木更津市提供資料より

庁内の推進体制については、本部長を市長、本部員を各部長とした電子地域通貨「アクアコイン」推進本部を設置しており、全庁体制で利活用を推進している。

木更津市の業務体制としては、地域経済活性化への活用及び行政分野における活用に関することに経済部産業振興課の職員が2名、コミュニティ活性化への活用に関することに市民部市民活動支援課の職員を1名、それぞれ配置している。

事業費の内訳として、平成30年度から令和4年度までの決算額の合計は1億

8,705万4,468円であり、国の地方創生推進交付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、またアクアコインの取組に賛同する事業者や個人からの寄附金により、一般財源は合計5,333万1,678円となっている。

3 アクアコインに係る取組・効果

運用開始から3年間の主な取組は次のとおりである。

項目	2019年度	2020年度	2021年度
(1)地域経済活性化への活用 【担当：経済部 産業振興課】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2018/2 三者連携締結</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2018/3~6 実証実験</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2018/10 運用 スタート</div> </div> 	地方創生推進交付金を活用した普及推進 地方創生臨時交付金を活用した取組 コロナ関連の経済対策 2019/10~2020/6 国のキャッシュレス・ポイント還元事業 2019/10~2020/3 プレミアム商品券事業 全国唯一!! 2020/2~ アクアコインでんきスタート 2020/9~2021/3 マイナポイント 事業 2021/6~2022/3 アクアコイン ICチップ 決済実証事業		
(2)コミュニティ活性化への活用 【担当：市民部 市民活動支援課】 	2019/5 らぶポイント 運用スタート 2020/9 らぶFit 運用スタート 2022/7 寄附受入機能 スタート 市民活動団体・企業等からのポイントの付与スタート		
(3)行政分野における活用 【担当：各課】 	歳入 2019/6~ 住民票交付 手数料等の受入 2019/9~ 公民館 使用料の受入 2021/1~ 窓口キャッシュレス化で 受入窓口拡大 2021/10~ 税の受入開始 (市県民税・固定資産税 ・軽自動車税・国保税) 歳出 2019/11~ 市職員給与からの オートチャージ開始 2021/1~ 補助金支出の 開始 2023~ 自治体マイナポイント 事業スタート		

木更津市提供資料より

(1) 地域経済活性化への活用

内閣府が所管する地方創生推進交付金について、令和元年度から3か年の計画が認定され、チャージ機の導入や軽微なシステム改修など、主にアクアコインの基盤整備に活用した。

また、新型コロナ・物価高騰対策として、消費喚起キャンペーンや事業者支援などを行った際にも、アクアコインを活用することにより、事業者への委託料を最小限に抑えるとともに、事業を迅速に開始することができたところである。

① 飲食店応援プロジェクト「きさ食（クー）PON」の販売（R2.7.15～R2.9.10）

飲食店が発行する先買いクーポンを購入すると20%のポイント還元

② 木更津のお店応援Wキャンペーン（R2.10.1～R2.12.31）

利用者向け：アクアコインチャージ額の10%ポイント付与
加盟店向け：期間中のアクアコイン売上額の3%を還元

③ 新規インストールキャンペーン（R2.11.1～R3.3.31）

期間中にアクアコインを新規インストールした方に1,000ポイントを付与

④ アクアコイン×J I D GROUPポイント20%還元キャンペーン
（R3.7.1～R3.11.2）

地域の消費喚起に向け、利用額の20%をポイント還元

ポイント原資2,000万円は、市内に本社があるJIDグループからの寄附によるもの

⑤ みんなにThanks! 利用額10億円達成記念ドーンと!! 15%還元キャンペーン
（R4.10.20～R4.11.28）

地域の消費喚起に向け、利用額の15%をポイント還元

ポイント原資は、厚生水産(株)、高品政明氏からの寄附によるもの

⑥ 生活者物価高騰対策支援事業（R4.12.15～R5.1.6）

物価高騰に苦しむ事業者の支援として、利用額の20%をポイント還元



木更津市提供資料より

(2) コミュニティ活性化への活用

行政ポイント「らづポイント」を、市や市民活動団体が主催する地域のまちづくり活動等に参加した場合に付与している。



<付与例>

木更津ナチュラルバル	マイバッグ・食器等の持参者へ 100P
健康学習講座	参加者へ 100P
盤洲干潟クリーン作戦	参加者へ 100P
スマホ教室	参加者へ 100P

木更津市提供資料より

また、運動習慣の獲得を図ることを目的とした歩数計健康アプリ機能「らぶFit」により、市民の健康増進にも寄与している。



1日 8,000 歩を達成するとらぶポイントを付与！

木更津市提供資料より

さらに、市内小学校のPTA活動の中で、PTA会費徴収やボランティアポイントの付与等を行い、PTA活動の活発化やコミュニティの活性化につなげている。

(3) 行政分野における活用

固定資産税、市・県民税、国民健康保険税、軽自動車税の納付書払いのほか、窓口キャッシュレス化の推進により、ほぼ全ての窓口においてアクアコイン決済が可能となっている。

また、アクアコイン普及策の一環として、まちづくりに携わる団体に支出する市の補助金について、アクアコインによる支出を実施している。

さらに、自治体マイナポイントモデル事業として、子どもが誕生した家庭を対象とした子育て応援マイルポイント事業やマイナンバー新規申請者を対象としたポイント事業を実施した。

アクアコインの利用状況

項目	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
①加盟店数（累計）	436店舗	565店舗	663店舗	750店舗	833店舗
②インストール件数（累計）	6,618件	10,748件	15,909件	22,858件	28,816件
③利用額（累計）	9,777万円	2億9,367万円	5億6,564万円	8億8,173万円	13億6,808万円
④BtoB取引額（累計）	134万円	1,469万円	2,014万円	3,238万円	5,663万円

※2023年3月末日時点の支払経験ユーザーは13,406件

木更津市提供資料より

【参考】電子地域通貨「アクアコイン」普及推進計画における数値目標

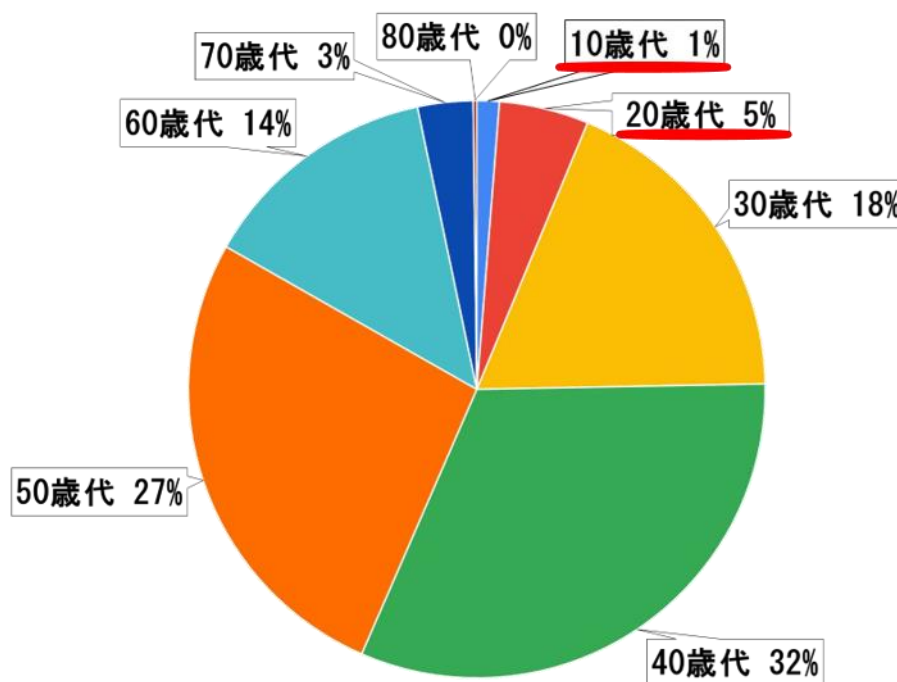
数値目標名	単位	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
インストール数（累計）	件	27,000	32,000	37,000
加盟店数（累計）	店	840	940	1,040
月間利用金額（年度月平均）	千円	30,000	35,000	40,000
BtoB取引額（累計）	千コイン	45,000	60,000	80,000

木更津市提供資料より

4 導入・運営面で直面する課題

(1) 利用者の年齢の傾向について

利用者の年齢の傾向としては、30歳代、40歳代、50歳代が多く、10歳代、20歳代や70歳代以上が相対的に少ないといった傾向が見られる。地域通貨は地域の皆さんに使っていただきたいという思いがあることから、いかに多世代の方に普及させるかといった課題がある。



10・20代、70代以上の利用が少ない。

アクアコインユーザーアンケート（R5.1）

木更津市提供資料より

若い世代への普及活動として、アクアコインを使って木更津市を活性化するアイデアを募集し、優れたアイデアについては事業化する「AQUA COIN アイデアコンテスト」や、次代を担う子どもたちがアクアコインの目的や仕組み等を学び、持続可能な地域づくりを考えるきっかけや地域愛の醸成を図ることを目的として、木更津市内市立小学校5・6年生の児童を対象に「第1回アクアコインポスターコンテスト」を開催した。

また、アクアコインや地域経済の仕組み等を学び、日々の買物を通じて、地域の支え合いや自分が住む地域をよりよくしようとする心を育てることを目的に、小・中学生向けの電子地域通貨「アクアコイン」授業の実施や、決済音「アクア」を市内の保育園・幼稚園の園児や木更津市PR大使である気志團の綾小路翔さんなど、様々な方に担当していただく特別音声企画を実施している。

高齢世代への普及活動としては、毎年度、主に高齢者を対象にスマートフォンの基本操作や使用方法、アプリのインストール体験として、アクアコインアプリのインストールを行うスマートフォン体験講座の開催などを行っている。

(2) 利用動機について

アクアコインを利用しようと思った一番の理由が、ポイント還元がお得だからといったアンケート結果もあるが、ポイント還元の原資としての市の予算や寄附金には限りがある。その中で、地域貢献につながることを利用動機に挙げている利用者もいることから、地域貢献事業として、子どもたちの「食」と地域の未来を考えるアクアコイン加盟店がアクアコイン年間売上額の1%分を「きさらづオーガニック給食基金(※)」に寄附するプロジェクトを予定している。

(※) きさらづオーガニック給食基金

地域の有機農業を推進し、木更津市立の小学校及び中学校における学校給食の地産地消の促進、食育の推進の事業にかかる費用に充てる基金

◎ 主な質疑

- ・アクアコインの運用に係る経費と利用額の推移について
- ・加盟店の業種、規模と利用されている店舗の規模別の割合について
- ・若年層からの評価と学校PTA活動での活用に対する保護者の反応について
- ・高齢者等デジタル弱者への対応について
- ・当該事業を持続可能な仕組みとするための取組と将来の見通しについて

◎ 主な提供資料

- ・電子地域通貨「アクアコイン」について

〔最後に〕

以上、調査事項について資料等による説明、各委員の質疑等によって判明したことを含め、視察の概要を記した。

なお、視察項目の設定に当たっては、前述のとおり本市における現在の行政課題等を念頭に行ったものである。

また、視察時間を有効に活用するため、事前に視察項目に関する資料を収集し、本市事業との比較、検討を行った上で視察に臨んだ。

本委員会は、これらの成果を今後の委員会活動はもとより、市行政に反映させていくことを確認し、管外視察の結果報告とする。